

2023年12月22日

住友生命保険相互会社

Singapore Life Holdings Pte. Ltd. の子会社化について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、米国投資ファンド TPG Inc.（以下「TPG」）^{※1}と、TPG の保有する住友生命の関連法人 Singapore Life Holdings Pte. Ltd.（以下「シングライフ」）株式 35.48%を 15.8 億シンガポールドル（約 1700 億円）^{※2}で取得（以下「本件取引」）することに 12 月 21 日付で合意しました。

これにより、2023 年 9 月 13 日付発表済みの英国保険グループ Aviva からのシングライフ株式取得^{※3}に加え、本件取引によってシングライフは住友生命の子会社となる予定です。

住友生命は、引き続きシングライフの完全子会社化に向けて、本件取引と同条件で、残る既存株主からの株式取得を進めていきます。なお、本件取引は Aviva からのシングライフ株式取得と共に、当局認可を含むクロージング要件の充足を条件に、2023 年度第 4 四半期中の完了を予定しています。

※1 取引主体はTPG傘下会社Abbey Life Holdings Ltdとなります。

※2 住友生命およびTPG以外のシングライフ株主は、シングライフの株主間契約において先買権および共同売却権を有しており、その権利行使結果により、取得株数・取得金額は変動する可能性があります。

※3 詳細は右記URLをご参照ください。<https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2023/230913.pdf>

1. 子会社化の背景・狙い

住友生命は、シンガポールをアジア事業戦略における中核市場の一つと位置付けており、シングライフに対しては、2019年の初回出資以降、長期的に経営に関与する戦略投資家として、その事業拡大を支援してきました。

シングライフは、創業当初からデジタルを活用したビジネスモデルに強みを持ち、2020年にはAvivaシンガポール事業を買収するなど、順調に業容を拡大しており、現在では多様な商品・販売チャンネルを有するシンガポール大手生命保険会社の一角に成長しました。

また、アジア地域の事業展開としてフィリピンへも進出しています。このような実績・成長性の両面と、これまで築き上げてきた両社の良好な関係性を踏まえ、今般、子会社化の判断に至りました。

2. 今後の展開

シングライフ子会社化後は、シングライフの有するビジネスモデル等のノウハウを、住友生命グループのお客さまの利便性向上や経営効率化に繋げるなど、グループシナジーの発揮・最大化に取り組んでいきます。

また、住友生命は2024年4月にシングライフとの関係強化や域内の市場調査を目的としてシンガポール現地拠点の設立を予定しています。さらに、将来的には、アジア事業戦略の推進や、グループ・ガバナンスの高度化およびグループシナジーの創出を一層進めていくために、アジア事業統括拠点の設立を検討していく予定です。

このような取組みにより、海外事業を通じた収益基盤の拡大、事業の継続性強化を図ります。また、「スミセイ中期経営計画2025」の達成、「住友生命グループVision2030」の実現に寄与し、「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を目指します。

■シングライフの概要

会 社 名 : Singapore Life Holdings Pte. Ltd.

設 立 : 2020 年

代 表 者 : Pearlyn Phau (取締役 グループ CEO)

従 業 員 数 : 約 1,200 名

総 資 産 : 14,372 百万シンガポールドル (約 1.5 兆円)

保険料等収入 : 3,480 百万シンガポールドル (約 3,700 億円)

*2022 年末時点 (保険料等収入は 2022 年 1 月 1 日~2022 年 12 月 31 日)
2023 年 6 月末時点の為替レート 1 シンガポールドル=106.94 円で換算

以上